

●授業の様子

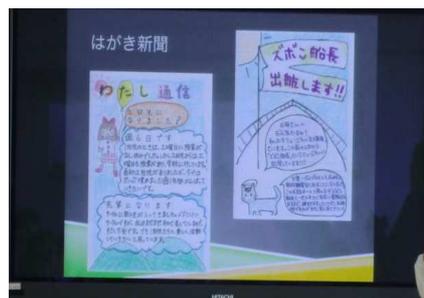
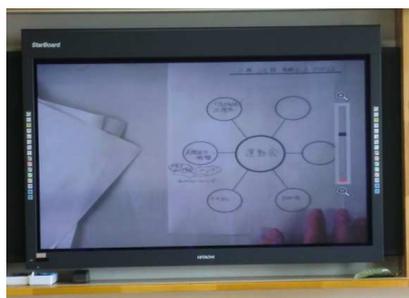
「多羅葉」の写真を見て、「葉書」の原型であることを確認しました。

運動会の招待状作成のために、書く目的の確認・イメージマップの作成・キャッチコピーの考案などを行いました。

先生への質問もたくさん出て、大盛り上がりの授業でした。

●先生の感想

デジタル環境の整った学校だからこそアナログな書くことが必要と考え、書く体験をさせています。情報モラルを取り扱う授業でも「手紙」と「メール」の違いを伝えたいです。



●授業の様子

「多羅葉」の映像を見て、「葉書」の始まりを学び、季節ごとのおたよりについて学び、「夏には暑中見舞いや残暑見舞いを出すんだよ。」と、夏のおたよりを書くことにつなげていきました。

かもめ〜るに施されている工夫や「後付け」についても学び、手紙を書く相手や、書く内容については、児童たちから次々に声が挙がり、大変活気のある授業となりました。

先生からは、「手書きは人の心を表す。」「手紙は願いや思いを込めるもの。」というお話がありました。

●先生の感想

4年生は社会科見学が多いので、紐付けてお礼状を出すようにしています。

福祉の授業として、老人ホームとのはがきのやりとりも考えており、発展として便せんまで書けるようになったらいいと思っています。



●授業の様子

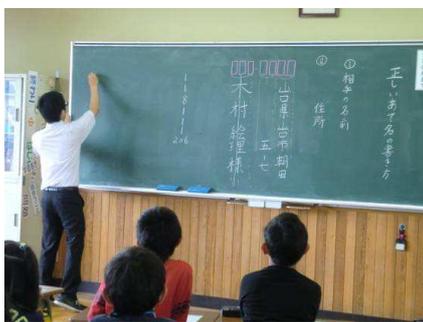
「くぼみ入りはがき」とは何なのかを学び、あて名、裏面をテキストに記入し練習しました。夏休みの宿題として先生に暑中見舞いを書くこととしていました。

児童からの感想では、「はがきの書き方を知ることができたので、知り合い全員に書きたい。」「転校したお友達からもらった手紙に短い文章でしか返事ができなかったのが、今度は長い文章を書きたい。」など前向きな発言が多く挙がりました。

●先生のご感想

テキスト全部に取り組む時間はなかったため、今回はあて名・裏面の書き方のみ学びました。

夏休み前にはがきを2枚渡し、1枚は先生に、1枚は祖父母や友達など大切な人に出すことを宿題としました。

**●授業の様子**

「手紙の書き方体験授業」テキストに沿って、季節のいろいろなおたよりを学び、四季がある日本だからこそ、おたよりに書く楽しみがあると伝えました。「誰に何を書くか。」を考え、あて名の書き方、文字の大小や敬称、郵便番号についても学びました。

当日は大変暑い日でしたが、はがきに書く内容を考え、夏らしい絵を描くことにより、児童たちも元気を取り戻した様子でした。

●先生のご感想

手紙やはがきを書くことによって、「丁寧に」字を書くという感覚を身につけさせたいと思います。

